

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

人々の生活や社会経済活動を支えるライフラインとして必要不可欠な水道。本業である水道事業を通し、災害時に給水の確実性を確保するための水道施設の耐震化整備を地元自治体と連携し行い、持続可能な社会実現に貢献する。並びに、持続性を確保するために、水道技術の継承及び人材定着に向けた取り組みを、積極的に行う企業を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)	
☑ 環境	水道本管の新設・布設替えによる耐震化整備 受注可能件数の制限等で、前期目標を超える数値の設定は不可であるが、最大限の受注を確保し、3年間5,000m以上の整備に取組みたい。	項目	水道施設の耐震化
☑ 社会		現状(2025年)	更新時(3年後)
☑ 経済		5,850m	3年間で5,000m以上
☐ 環境	新卒及び中途採用の実施 ここ数年の間に8名の新卒採用、2名の中途採用を行っており、現状を上回る雇用は必要ないが、将来を見据えた人材確保、技術者育成のために、毎年1名以上の採用は継続していきたい。	項目	採用の実施
☑ 社会		現状(2025年)	更新時(3年後)
☑ 経済		4名	毎年1名以上
☐ 環境	子ども達への職場教育の実施	項目	インターンシップの受入、出前講座
☑ 社会		現状(2024年)	更新時(3年後)
☑ 経済		2回	4回

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。  
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標項目と、現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。前期と同じ取組みの場合は、現状の数値と下記の前期実績が一致しているかをご確認ください。

<パートナーシップ>

熊本県、熊本市と防災協定を締結しており、災害時の復旧活動に従事している。自治体や地域関連企業と連携を図り、地域社会のインフラ整備に必要とされる企業を目指す。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

☐ 環境	水道本管の新設・布設替えによる耐震化整備	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 社会		水道施設工事施工	5km以上/3年間(2025年度までに)
☑ 経済		進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
		3年間で5現場の耐震化工事を行い目標を達成できた。	5,850m
☐ 環境	働き方改革の実施 新卒及び中途採用の実施	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 社会		有給休暇取得の推進 2021年度77.7%→2024年度90% 週休2日の実施 2021年度100%→継続 採用実施の有無 2021年度 未採用→毎年1名以上採用	
☑ 経済		進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
		有給取得に関しては、現場竣工との兼ね合いもあり、目標未達成となった。週休2日、採用に関しては、一斉現場閉所日の設定、賃金のベースアップを図り、目標を達成できた。	有給取得率 2024年度 63.2% 週休2日 2024年度 100% 採用実施 2023年度2名、2024年度3名、2025年度4名
☑ 環境	産業廃棄物の再資源化率の維持	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 社会		産業廃棄物の再資源化率の維持	再資源化率 2021年度100%→継続
☑ 経済		進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
		廃棄物を分別し、中間処理施設へ持ち込み再資源化する事で目標を達成できた。	2024年度100%

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、前期の重点的な取組みの実施状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。

※提出前に全てセルが青色から白色に変更になっているかをご確認ください。